

李前総統欠席へ圧力

国際会議世話人「手段選ばぬ工作」
中嶋学長示唆

外務省は否定

日本と台湾の有識者が日台関係やアジアの安全保障問題について話し合う国際会議「アジア・オープン・フォーラム」の世話人、中嶋嶺雄・東京外国語大学学長は三十一日、長野県松本市での同会議閉幕にあたりスピーチし、会議への出席を希望していた李登輝前総統の訪日ビザ申請の意向が発表された直後、一転して台湾の台北駐日経済文化代表処が「否定声明」を出した。ことについて言及。「訪日をなんとしてでも阻止したいとする日台双方の一部の人々と外交機関ないしは現地代表機関が連携して動き出し、手段を選ばぬさまざまな工作が行われた」と

うだ」と述べた。
中嶋氏は、今回のビザ申請と訪日後の旅行日程は事前に十分に李前総統と打ち合わせを行っていたとし、「(李前総統の訪日ビザ申請の意向を発表した)記者会見と声明についても(日本政府に)事前に連絡した

うえのことだったと明かした。
日本政府が、李登輝前総統の訪日ビザ申請に対して圧力をかけ、申請を断念させたとされることについて外務省の川島裕事務次官は記者会見で「全くの事実無根」と語っている。